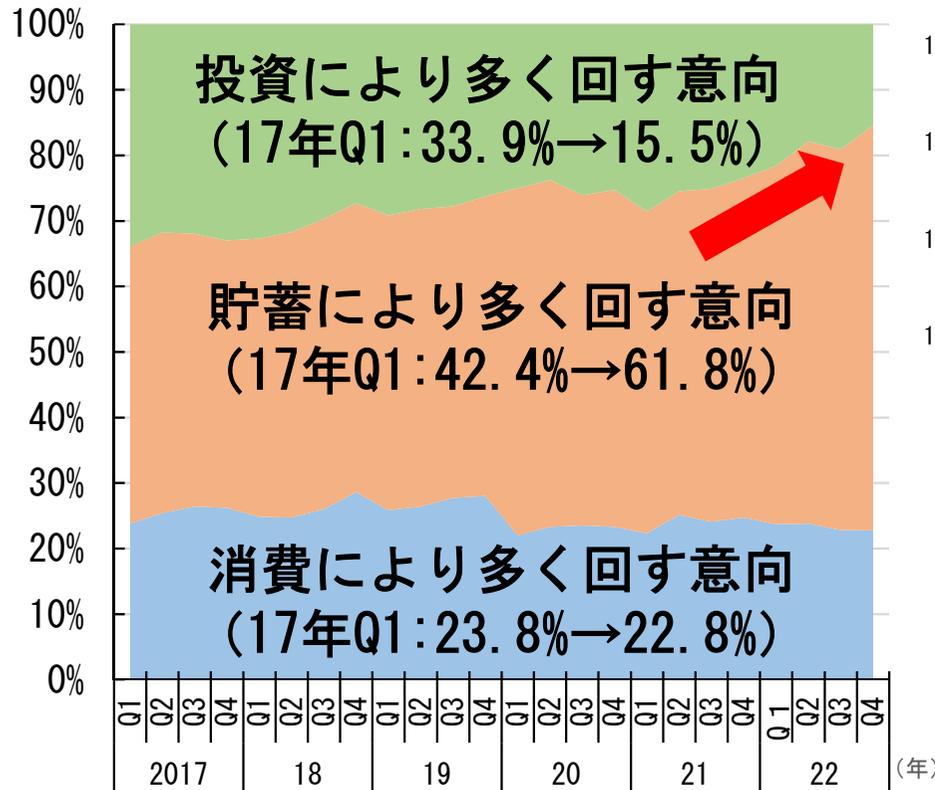


中国人の貯蓄行動とマインドの最近の動向

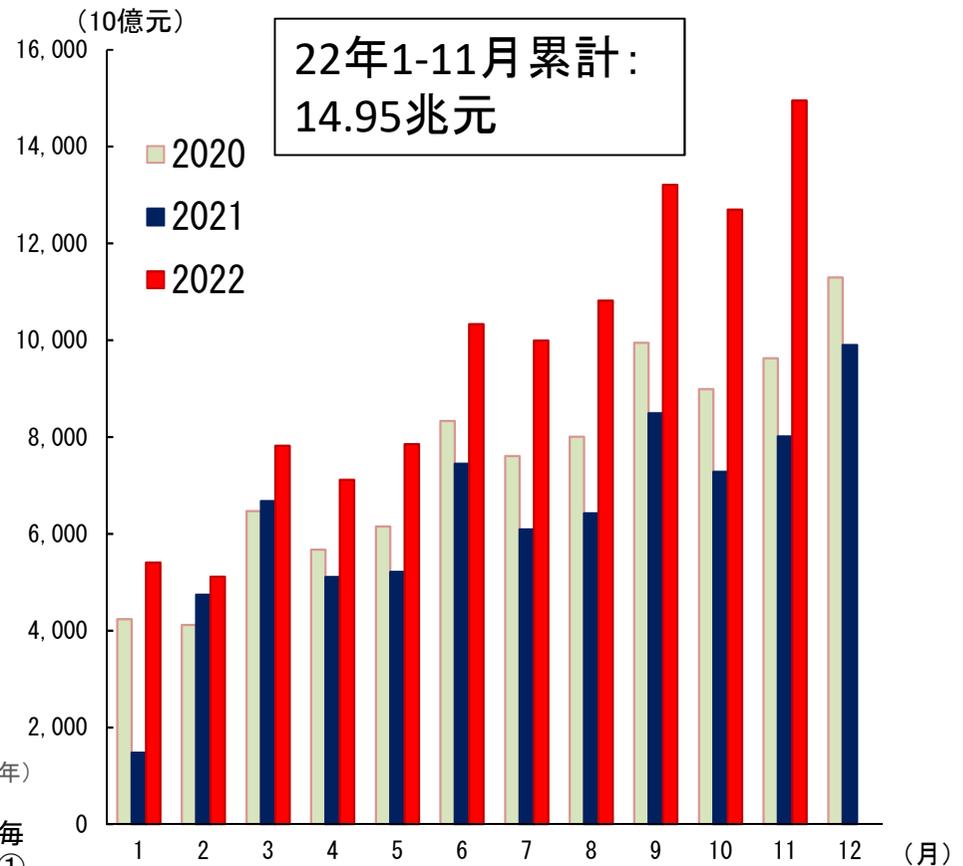
○ 昨年の感染再拡大・防疫措置等を背景に、22年の個人預金の新規増加額は、コロナ初年(20年)と比較しても大きく高まった。
 ○ 投資・貯蓄意向のトレンドをみると、ここ5年間で投資意向は▲18.4ptとなる一方、貯蓄意向+19.4ptとなっており、趨勢として貯蓄が増加する傾向が見られる。特に、昨年1年間で投資意向は▲6.1pt、貯蓄意向は+7.1pt変化。

投資・貯蓄・消費意向



(備考) 中国人民銀行より作成。全国50都市の2万人の預金者に対し、毎年2・5・8・11月中下旬にアンケート調査を実施。投資先の選択肢は、①銀行・証券・保険会社の理財商品、②基金信託商品、③株式の3種類。

住民個人預金新規増加額(年初来累計)



(備考) 中国人民銀行より作成。

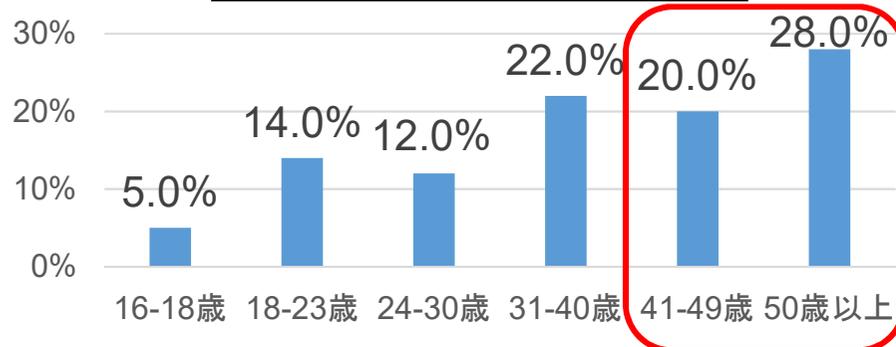
中国ブルーカラー労働者層就業研究報告2022

○12月27日、首都経済貿易大学・中国就業促進会の共同設置機関である中国新就業形態研究中心が「中国ブルーカラー労働者層就業研究報告(2022)」を発表。

(注)本報告書でいうブルーカラー労働者は、第2次産業及び第3次産業従事者7.47億人のうち約4億人を指し、製造業・建設業・従来型のサービス業だけでなく、プラットフォーム企業の配達員・タクシー運転手等の職業も含んでいる(定義の詳細は明らかにされていない)。

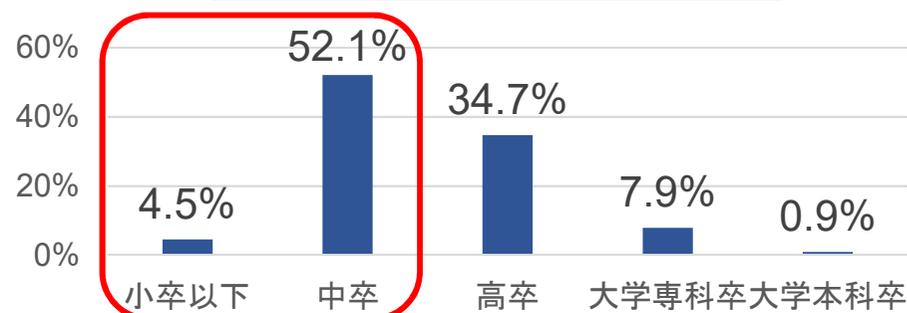
年齢分布

40歳以上が約5割を占める



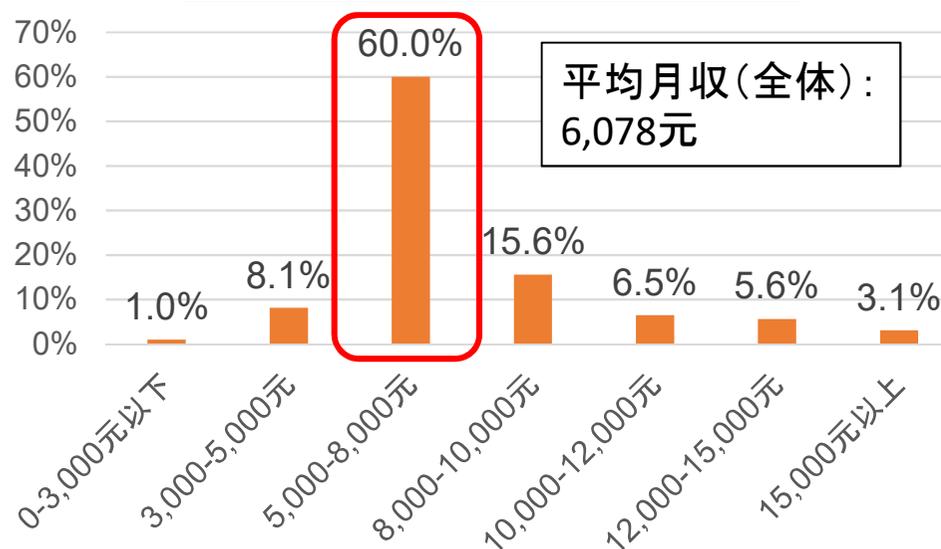
学歴分布

小卒・中卒が6割弱を占める



平均月収分布

5,000～8,000元が6割を占める



職業別月収分布

職業	平均月収	職業	平均月収
タクシー運転	8,263	警備	5,627
配送・倉庫	7,960	美容・理容	5,545
建設・内装	7,552	レストラン	4,727
機械・自動車修理	6,300	顧客対応	3,971
製造業労働者	6,152	スーパー小売	3,923
販売・営業	5,829	後方支援(注)	3,189
娯楽・レジャー	5,739	家政・清掃	2,136

(注)後方支援業務とは、企業・組織内の食堂・売店・ランドリー等で働く労働者のこと。